



初参加!!

第16回 科学ものづくりフェスタ@愛教大

11月19日(土)に愛知教育大学(刈谷市井ヶ谷町)において「第16回 科学ものづくりフェスタ@愛教大」が開催されました。このイベントは、愛教大生と連携校(他大学・高校)の学生・生徒によって行われる小学生や園児向けの数多くの科学実験や科学体験をとおして、子どもたちに科学の面白さやものづくりの楽しさを伝えていこうというものです。コロナ前から毎年2000名以上の子どもたちとその家族が来場しています。会場は共通教育棟にある30以上の教室です。今年も感染拡大防止に注意しつつ開催されましたがコロナ前に戻ったほどの賑わいでした。

本校は連携校として初参加です。自然科学部の部員以外にも科学好きの生徒や教員・保育士志望の生徒も募ったところ、1・2年生から8名の応募者があり自然科学部4名と合わせて12名が参加しました。



どの色がいいかな?



シールはしっかり貼ろうね

フェスタ当日、生徒たちは朝8時半に愛知教育大学に集合して、まずは大教室で大学生や他校生徒と一緒に打合せ会に参加。その後、自分たちがワークショップを開く203教室に移って準備をし、子どもたちの来場に備えました。初めは不安と緊張いっぱい顔をしていましたが、無邪気な子どもたちの笑顔にだんだん表情が緩み、それぞれが工夫して、子どもたちと楽しくおしゃべりしながら、チタンアクセサリーやアンモニアの標本模型を一緒に作りました。

ワークショップを開いていたのは午前、午後1時間ずつ。午前中はのべ100名ほどの子どもたちが来場しました。午後は午前中以上の来場者で、当日、小坂井高校ブースを訪れてくれた子どもたちはのべ200名を超えており、想像以上の来場者に少し驚いたようでした。日頃は接する機会の少ない小さな子どもたちや大人たちを相手にちょっと大変でしたが、得がたい体験ができ、充実した一日になりました。



多くの子どもたちとそのご家族が訪れてくれました

教員志望の生徒は、より愛教大に入りたいと思ったようですし、愛教大への進学を真剣に考えてみようと思った生徒もいたようです。